

住みやすいまちづくりへ より一層の努力を求め

予算特別委員会は、3月9日から12日まで町中央コミュニケーションセンターで開かれました。初日には、委員長に山崎幸男委員を選出。4日間にわたり一般会計や介護保険特別会計など10会計の平成21年度当初予算を審議しました。財政問題や産業振興策など、会計ごとに委員から数多くの質問があり、活発な議論が交わされました。ここではその審議の概要をお伝えします。

総括 質疑

平成21年4月1日から3年間、山田町特産品販売協同組合を指定管理者として指定しました（道の駅）

行政サービス 後退してるか

問 一般会計予算が減っている。町民への行政サービスは後退しているか。

企画財政課 身の丈にあった財政規模にしてきた。全体を見れば町民に対する行政サービスの後退はない。

予算減の連続 今後の推移は

問 平成13年度決算をピークにマイナス予算を組み合わせ、単年度予算規模でおよそ34億円の圧縮をしてきたが、今後の推移は。

町長 平成13年度の決算については、異常な決算規模

であったと思っている。国から話があり、当初3年計画で建設予定の山田中学校を2年で実施したことが大きな要因と考える。

その後については、国の交付税が大幅に減少したことが要因である。昔のような右肩上がりの時代は来ないと思っているので、これから健全な財政運営に努めていく。

道の駅にかかわる 債務負担行為の意味

問 道の駅「山田町林産物展示販売施設」の指定管理者の指定にかかわる債務負担行為3年の意味は。

副町長 会計は単年度収支が原則である。債務負担行

為とは、2年以上にわたる事業などを行う場合に、議会の議決を得て実施するものである。道の駅の指定管理者については、3年間の委託期間で議決を得ていることから、3年間の予算の裏付けが必要になる。

地元医師と連携し 地域医療の確保を

問 県立山田病院の医師確保に進展はあったか。地元医師と連携を図り、地域医療を守ってほしいが。

保健福祉課 山田病院、地元医師、町を交えて懇談会などを行っている。地域医療を守るため、行政も側面から支援していかねばならないものと思っている。